

令和 7 年中の死者数 82 人

(前年比 - 12 人, 全国ワースト第 10 位)

1 全国との比較

★ 交通事故死者上位都道府県

順位	都道府県	死者数	前年比
1	神奈川	139	+30
2	東京	134	-12
3	北海道	129	+25
4	埼玉	125	+12
5	千葉	122	-9
6	大阪	120	-7
7	愛知	112	-29
8	兵庫	98	-11
9	福岡	85	-6
10	茨城	82	-12

★ 人口 10 万人当たり

順位	都道府県	死者数
1	滋賀	3.87
2	高知	3.87
14	茨城	2.94
全国平均		2.06

※1 人口
R7/7/1 現在
※2 順位
小数点 2 桁以下まで参照

★ 自動車 1 万台当たり

順位	都道府県	死者数
1	滋賀	0.50
2	愛媛	0.45
25	茨城	0.31
全国平均		0.31

※ 自動車台数
R6/12/31 現在

※ 全国の死者数 2,547 人、前年比 - 116 人 (-4.4%)

2 県内の交通死亡事故の主な特徴【発生件数 80 件、死者数 82 人】

市町村	戸田市が 13 人(+2) で最多、次いで筑西市が 5 人(+4)
地域	県央(+1)、県西(+5) が各 23 人で最多、次いで県南が 21 人(-10)、 鹿行が 7 人(±0)、県北が 6 人(-8)、高速道が 2 人(±0)
第 1 当事者の 年齢層	「70 歳以上」が 26 件(-5) で最多、次いで「20 歳代」が 13 件(-1) 高齢者 32 件(-6) 構成率 40.0%
原因	「前方不注意」が 18 件(-5) で最多、次いで「一時不停止」が 14 件(+10)
飲酒運転	発生件数が 8 件(+3)、死者数が 8 人(+3)
事故類型	「車両相互」が 38 人(+2) で最多、次いで「人対車両」が 23 人(-12)、 「車両単独」が 21 人(-1)、列車が 0 人(-1) 小類型では、「車両相互-出会い頭」が 23 人(+13) で最多
昼 夜	「昼間」は 45 人(-1) 構成率 54.9%、「夜間」は 37 人(-11) 構成率 45.1%
時 間 帯	「16～18 時」が 13 人(+1) で最多、次いで「14～16 時」が 11 人(+5)
死 者 の 年 齢 層	「80 歳以上」が 24 人(-11) で最多、次いで「70 歳代」が 23 人(+6) 高齢者 50 人(構成率 61.0%) 全国ワースト第 8 位 児童・生徒の死者数 幼児 1 人(+1)、小学生 1 人(±0) 中学生 0 人(±0)、高校生 5 人(+4)
シートベルト	四輪車乗車中の死者 39 人中、14 人(35.9%) がシートベルト非着用 非着用 14 人中、10 人(71.4%) は着用していたら助かった可能性あり
特記事項	令和 7 年 12 月中の死亡事故(発生件数 8 件、死者数 8 人)の特徴 ・昼夜別では、「夜間」が 6 件 ・類型別では、「人対車両」が 5 件 ・死者の年齢別では、高齢者が 5 人

※1 「高齢者」とは 65 歳以上をいう。

2 「飲酒運転」とは原付以上が第 1 当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。

3 () 内は前年比

4 数値はいずれも速報値

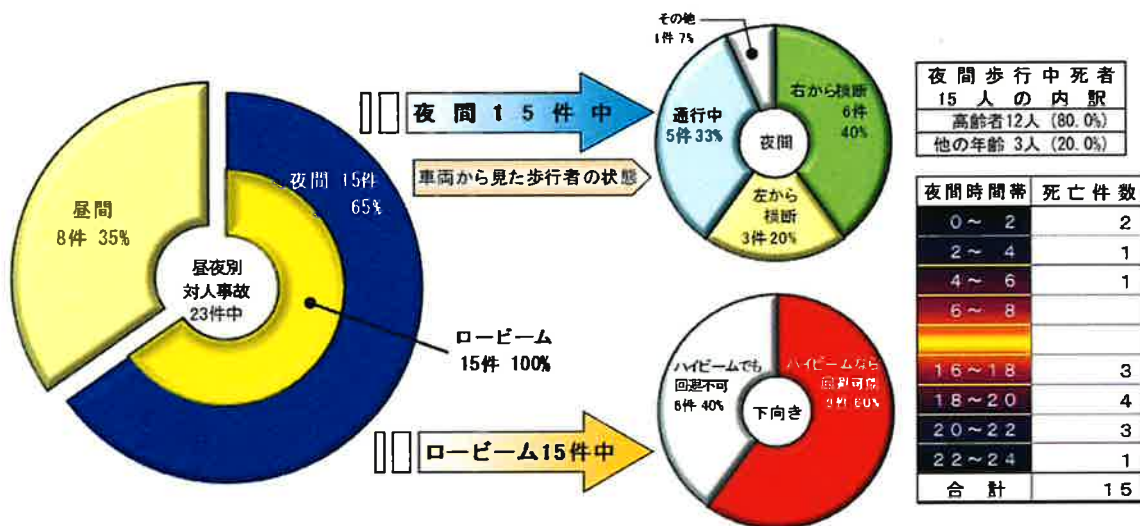
交通安全かわら版

令和 8 年 1 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 2

～ ライト切り替えによる交通事故防止 ～

1月は午後4時00分を目安に ヘッドライトを点灯しましょう！

夜間、車両(原付以上)が歩行者と衝突する交通死亡事故(令和7年中・15件15人)



運転者はヘッドライトのこまめな切り替えを！



ロービームでは約40m先に立っている人の足下しか照らせません。
時速60キロで走行していた場合、人だと認識できたときにはブレーキを踏んでも間に合わない可能性が高くなります。
ハイビームを活用し、上向きにできないときは速度を控えましょう。

歩行者・自転車利用者は反射材の着用を！

明るく目立つ色の服装やLEDライト等をプラスすれば、さらに効果アップ！

歩行者

自転車

自分の存在をアピールすることで暗い時間帯の交通事故被害を防止しましょう！